

令和5年度

総合型地域スポーツクラブアドバイザー 活動報告（10月～12月）

福井県の総合型地域スポーツクラブ（総合型クラブ）支援事業は多様で、それぞれに目的と狙いを付けながら行いました。しかし、県内クラブの運営状況は厳しく新しいことに挑戦する余裕がないのが現実です。各事業を上手く活用して、持続可能なクラブ運営を目指せるようにアドバイスしていきます。

10月

現在のスポーツ環境は、多くの地域課題や時代にもとない変化しています。少子高齢化、多様性、引きこもり、独居暮らし等もその1つでしょう。また、誰もが生涯にわたりスポーツを楽しめる環境を作る上で障がい者スポーツの普及も欠かせません。しあわせふくいスポーツ協会の出前講座などの視察を通して障がい者スポーツの活用について関係者と意見交換をしました。各クラブの活動においても、障がい者スポーツの取り入れを模索し、新たな取り組みとなるよう適切なアドバイスをしていきます。



クラブ交流ポッチャ大会



障がい者ニュースポーツ交流



障がい者スポーツ出前講座

11月

＜北信越ブロッククラブネットワークアクション2023＞

令和5年11月19日～20日、北信越ブロッククラブネットワークアクション2023が、長野県生涯学習センターで開催されました。共通プログラムではスポーツ庁からの情報提供、独自プログラムでは、「部活動改革」様々な部活動地域移行の形が発表されました。また、若者プロジェクトでは、それぞれのテーマごとにディスカッションを行いました。夜の情報交換会も大いに盛り上がり、各クラブにとっても大きな成果があったようです。来年は新潟県、再来年は福井県開催の予定です。



渡邊実行委員長あいさつ



グループワーク

＜スポカル FUKUI2023＞

令和5年12月9日～10日にかけて、サンドーム福井で「スポカル FUKUI2023」が開催されました。県総合型クラブ連絡協議会もブースを設置し総合型クラブのチラシ配布などの広報活動を行いました。チラシ配布のほか、公式輪投げとフロアカローリング体験を実施し、家族や友人同士で競い合いながら楽しみました。総合型クラブの質問もあり、各地域のクラブ紹介や教室の体験など情報提供しました。

まだまだ、総合型クラブの認知度は低く、広報の必要性を感じた日になりましたが、今後も、クラブ訪問時には、広報のアドバイスもしっかりしていきたいと思います。同時に、幼児期の運動需要の多さを感じたので、各クラブへの周知をしていきたいと思います。



スポカル FUKUI2023



公式輪投げ、フロアカローリング体験

＜地域スポーツ基盤強化事業研修会＞

12月13日に令和5年度福井県地域スポーツ基盤強化研修会が開催されました。第1部は、地域スポーツクラブの可能性を広げよう！というテーマで、（一社）日本スポーツツーリズム推進機構の藤原直幸氏に、持続可能な地域スポーツ環境づくり：地域資源×スポーツツーリズムでご講演をしていただきました。第2部では、部活動の地域移行はチャンスという題材で事例発表をしてもらい情報交換会を行いました。どちらの題材も、将来のクラブにとって有意義な活用ができると考えましたが、現段階では運営自体が弱く実現は難しいようです。



地域スポーツ基盤強化研修会

＜部活動の地域移行の動きが活発化＞

中学校部活動の地域移行の動きは、各市町行政中心に動きが活発になり始めました。しかし、形づくりや方向性は市町により違って落しどころが見えないような傾向も多く見受けられます。その意味でも、本来は各市町の総合型クラブが安定した運営のもと、子どもたちを受け入れられることが望ましいように思います。今後も市町での関係会議にて総合型クラブの活用について意見を発信していきます。



鯖江市地域スポーツ推進会議